

クラス：C グループ：4 選んだケース：ケース②

1. レディネスとニーズ分析

1) ケース

ケース②

在留資格	技能実習1号（団体監理型）
在留資格 移行見通し	技能実習1号（現在） ⇒技能実習2号
日本滞在歴	3か月目
職種	耕種農業（畑作・野菜）
人数	4名
国籍 人数内訳 学歴等	ベトナム 4名（農村部出身） ①グエン 19歳 義務教育終了 男性 ②ホー 22歳 高卒 男性 ③ズオン 19歳 義務教育終了 女性 ④ホワン 20歳 高卒 女性
日本語 学習歴	入国前研修 160時間 団体研修（ベトナム） 入国後講習 監理団体による団体講習（日本） 実習実施機関でのOJT
日本語 能力等	・非常にゆっくり正確に発音すればあいさつや普段繰り返し聞いているごく短い指示（「おつかれさま」「ありがとう」「これ、3こ、入れて」「コンテナ、ここに、おいて」など）がジェスチャー付きで理解できる。 ・短い自己紹介ができる。 ・ひらがな・カタカナは読めるが、言葉の意味がわかっていないことがほとんど。 ・名前や住所など最低限のプロフィールはひらがなで書くことができる。 ・日常の業務や生活に必要な情報など細かな説明は技能実習2号3年目の先輩が通訳をしてくれている。
就労状況	作業時間 平日 7:00～16:30、土曜日 7:00～12:00。平日は業務により疲労蓄積
学習期間 学習時間数	4か月 週2回 平日1回1時間と、土曜日午後2時間（週3時間）
所属機関・ 受講者の 要望	【実習実施機関の要望】 ・もう少し長い作業指示、ルール、安全衛生等の説明などをダイレクトに伝えたい。 ・日本での生活が楽しめるように少し会話の力もつけてもらいたい。 ・特に素地のある実習生は次回以降に来日する実習生との橋渡し役に育ってほしい。長期滞在してくれれば尚よし。 【外国人材の要望】 ・日本人の友だちを作りたい。 ・買い物や、遊びに行くときに必要な日本語を勉強したい。 ・ホーさんは将来 特定技能1号への移行も考えている。
その他	・寮にWi-Fi環境有 ・全員スマートフォン有 ・ホーさんとホワンさんはPC有

【本コースにおけるニーズ領域】

どんな場面

就労場面

作業現場（就業中）

作業現場（休憩中）

△休日外出先

どのような目標

安全かつ楽しく仕事ができるようにする

ルール、安全衛生等の指示を理解する

職場の日本人と交流できるようにする

身近な場面で簡単なやりとりをする

△地域の日本人と交流できるようにする

どの言語活動をどの程度まで

作業現場での指示が複文でも大体理解することができる。

作業現場での作業行程を理解することができる。

作業現場での安全衛生についての指示内容を理解することができる。

△休憩中に身近なことに関する会話ができる。

△日常生活で、身近なことに関する情報交換について日本人とやりとりできる。

△日常生活で、学習者自身の関心があることについて話すことができる。

2. シラバスデザイン

1) コースの方針

実践的な会話を重視し、作業現場での指示に対して、適切な反応ができる人を育てる。

日本語が話せると楽しいと感じる授業づくりを目指し、自発的にコミュニケーションを取る人を育てる。

2) コースの目標

1.業務内容、ルール、安全衛生等の指示を理解し、適切な反応をすることができる。

2.職場の同僚と日常的な話題を話すことができる。

3) シラバス

学習項目	目標
業務に関する基本的な日本語	ルール、安全衛生等の説明がわかるようになる。
専門分野に関する日本語	長めの業務指示がわかるようになる。
日常生活の日本語	職場の人や周りの日本人と簡単なコミュニケーションが取れるようになる。

4) 評価方法

評価項目	評価方法
言語知識	筆記テスト 1 毎回小テスト（主に前回までの既習語彙を問う筆記試験10問程度） 2 期末テスト（これまで実施してきた語彙や表現を問う筆記試験50問程度）
話す（やりとり）	ルーブリック評価表を点数化 1 （1か月に1回程度）指定した項目をロールプレイ 2 （最終回）ロールカードを用いたロールプレイによる期末テスト

3. カリキュラムデザイン（学習計画および学習目標）

授業時間数			
水曜（1時間）・土曜（2時間）の計3時間を一単元の進度とし、4ヶ月16週32回で16単元の進度とする。			
単元	授業内容・教室活動	目標	教材番号・使用箇所
1	指示・表示理解 ・水曜と土曜の計3時間を一単元として進める。 <u>水曜日</u> 前週の復習と単語テスト 単元ごとのフォームの導入 <u>土曜日</u> 前週の復習と単語テスト ロールプレイ。 各自が学習チェックシートを用いて自己評価。	危険な行為に対する注意を理解して、反応することができる。 表示についての説明を理解することができる。 表示の意味がわからないとき、説明を求めることができる。	1) 『げんばのにはほんご』（農業関係職種） 2、3課
2	勤怠管理	遅刻をしたときに理由を言って、謝ることができる。 早退や有給休暇取得の許可をもらうことができる	1) 同4課
3	安全	安全に行動するために、注意を聞いて理解できる。 異常に気づいたら、すぐ指導員に報告	1) 同5課

		することができる。	
4	服装確認 ロールプレイトテストとフィードバック	服装や作業について、問題がないか確認することができる。 忘れ物をしたことを報告することができる。	1) 同 6 課
5	緊急事態	火事が起きたとき、すぐに周りに知らせることができる。 けがをしたことを報告することができる。	1) 同 7 課
6	天気	その日の天気と作業について理解することができる。 天気や気温の変化を報告し、次の作業を確認することができる。	1) 同 8 課
7	色や状態の識別	作物の状態について、聞いて理解することができる。 作物の状態について、描写することができる。	1) 同 9 課
8	計測・軽量 ロールプレイトテストとフィードバック	温度などの数字を読み、伝えることができる。 あいまいな指示に対して、具体的に尋ねることができる。	1) 同 10 課
9	運搬	他の人と声をかけあって、荷物を運ぶことができる。 指示がよく聞き取れなかったとき、聞き返すことができる。	1) 同 11 課
10	整理 整頓	道具の片づけ方を聞いて、適切に片づけることができる。 不具合のある道具を見つけたとき、報告することができる。	1) 同 12 課
11	植え付け	言葉の意味がわからないとき、言い換えたり、動作で確認したりすることができる。 作業内容を忘れたとき、もう一度教えてほしいとお願いすることができる。	1) 同 13 課
12	栽培管理	作業するまえに、不明点を確認することができる。	1) 同 14 課

	ロールプレイトテストとフィードバック	作業の目的について、質問することができる。	
13	収穫・出荷	作業の期限を尋ねることができる。 その日に行った作業について、報告することができる。	1) 同 15 課
14	生活会話 1	予定やしたことについて話すことができる。 ノンバーバルコミュニケーションを伴ってやりとりすることができる。	2) 『あたらしいじっせんにほんご』10 課
15	生活会話 2	知り合いや友だちをさそうことができる。 誘われたときに適切な返答ができる。	2) 『あたらしいじっせんにほんご』14 課
16	期末テスト ロールプレイトテストとフィードバック	水曜日 第4回のロールプレイトテストと期末テストの説明 土曜日 語彙知識の筆記テストとロールカードを使ったロールプレイトテスト。	

教材

教材番号	教材名	著者	出版社
1)	『げんばのにほんご』 (農業関係職)	外国人技能実習機構	スリーエーネットワーク
2)	『あたらしいじっせんにほんご 技能実習編』	公益社団法人国際国語普及協会	公益社団法人国際国語普及協会

以上